

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年9月19日（火）

2 確認箇所

多核種除去設備等処理水希釈放出設備（処理水移送ポンプ（多核種移送設備建屋）、移送配管ベント弁）

3 確認項目

多核種除去設備等処理水希釈放出設備の点検等の状況

4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS処理水」という。）の初回放出が9月11日に終了し、ALPS処理水希釈放出設備の点検等が行われていることから、前回に引き続き状況を確認した。（図1）

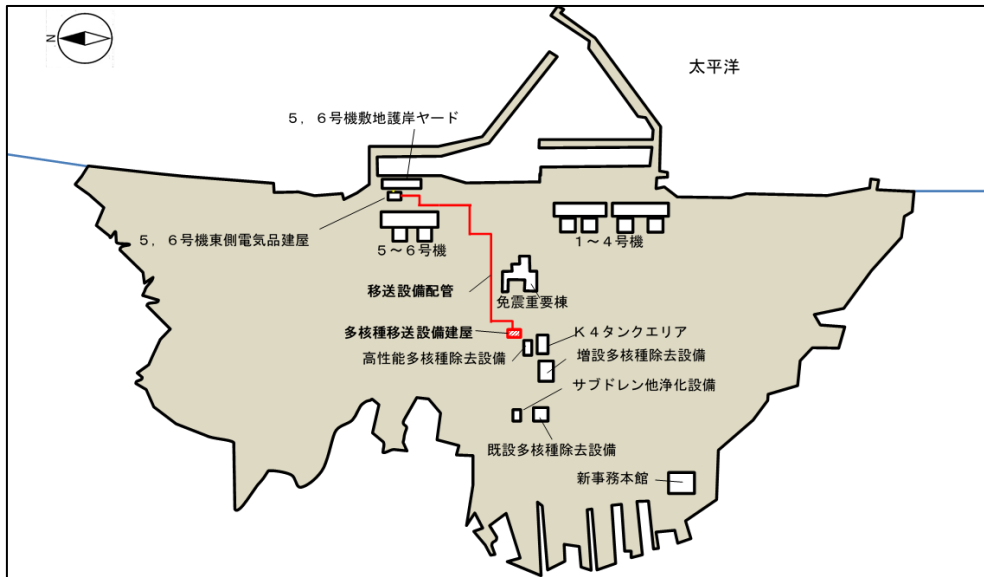
（前回確認日：令和5年9月14日）

ア 多核種移送設備建屋における点検作業の状況

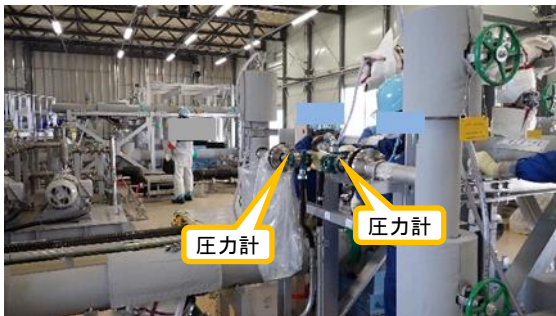
- ・処理水移送ポンプ周辺配管に取り付けられている圧力計の点検作業が行われていた。（写真1）
- ・点検のために保温材が取り外された配管には、結露水を吸収するための吸水バッグが取り付けられていた。（写真2）

イ 移送配管ベント弁の点検作業の状況

- ・移送配管にはベント弁が10箇所（上流側からベント弁1～10）設置されている。なお、9月6日に漏えい警報が発生したのはベント弁3であり、防水カバーや内部保温材を取り外しての点検が終了し、9月13日に復旧している。
- ・現地確認時には、ベント弁1及びベント弁2の防水カバーの半分が取り外されており、ベント弁4については防水カバーを覆っていたビニールシートの養生が外された状態になっていた。その他のベント弁はビニールシートにより養生された状態になっていた。（写真3）
- ・東京電力によると、点検、復旧が終了したベント弁3以外の9つのベント弁について、防水カバーを半分取り外し、内部に雨水が浸入していないか確認したうえで復旧する点検作業を行うとのことであり、ベント弁1については、異常がないことを確認し、これから復旧作業を行うとのことであった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
圧力計の点検状況①
(多核種移送設備建屋内)



(写真2)
圧力計の点検状況②
(多核種移送設備建屋内)



(写真3-1)
ベント弁1の状況



(写真3-2)
ベント弁2の点検作業の状況



(写真3-3)
ベント弁3の養生状況



(写真3-4)
ベント弁4の状況



(写真3-5)
ベント弁6の状況



(写真4)
ベント弁1の復旧作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。